

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 新規農業経営者育成事業

JA名 佐伯中央（広島県）

1 動機 (経緯)	管内において、農家の高齢化・減少により、荒廃農地が拡大、振興作物の生産量が減少し、産地維持が困難な状況になりつつある現状において、地域の活性化と地域の特性を活かした産地化を実現するため、新たに農業経営を希望する者に対して軟弱野菜を対象とした研修事業を実施し、核となる担い手の確保・育成に取り組むことで生産基盤の強化を図ることを目的としました。
2 概要	<p>45歳未満の方を対象として、2名の研修生を募集し軟弱野菜栽培を対象とした研修事業を実施する。</p> <p>1年目は基礎研修</p> <p>JA・市・県の指導員等による基礎的知識と技能習得に向けた座学研修、中央会・全農等の研修会参加による外部研修。</p> <p>研修農場による栽培実習を行う。</p> <p>2年目は実践研修</p> <p>就農予定地(研修生と地権者が利用権設定)にハウス等を整備、JA・市・県の指導員等の指導を受けながら農業経営を開始する。</p> <p>研修作目・経営作目は軟弱野菜(ほうれん草・小松菜等)に限定する。</p> <p>研修に係る費用は、研修施設の利用料、受講料など研修に係る費用は無料。</p> <p>2年目の就農予定地での実践研修については、経営開始にむけての施設・機械等の導入費用は市・県の補助事業にて総事業費の1/2(1人1000万円を限度)を補助し残りについては、研修生の負担となります。(リース事業又は融資事業の取組)</p> <p>生活費、現地への交通費は支給しませんので1年目の基礎研修期間中は無収入です。2年目の実践研修で栽培した農産物の販売収入は研修生の農業収入となります。</p> <p>3年目には農業経営者としての確立を目指す。</p> <p>平成25年度より27年度の3カ年で毎年2名、合計6名の農業経営者予定。</p>
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修農場の施設・機械・道具整備の実施。 ・研修生2名の受け入れ、基礎研修の実施。 ・実践研修のための就農予定圃場選定・確保。 <p>地域農業の核となる人材の育成・研修を始めたことにより、今後の担い手確保、生産基盤強化、生産体制強化、産地形成に向けた取り組みを実施。</p>
4 今後の 予定(課題)	<p>研修生の確保。</p> <p>農地集積しくみづくりによる就農農地の確保。</p> <p>新規就農体制・施設整備事業支援体制の取り組み。</p>